

## 経営課題1 区民主体のまちづくり

### 経営課題の概要

区民主体のまちづくりに向けて、課題を共有しながら活動できる小学校区を単位として、各種地域団体や企業、NPOなど多様な活動主体が地域の将来像を共有しながらそれぞれの特性を発揮し、さまざまな地域課題に取り組む自律的、持続的な地域運営を進める必要があります。

### 経営課題のための戦略

#### 1 豊かなコミュニティづくりの促進

#### 具 体 的 取 組

【H28予算算定額：一千円】

##### 1) 地域の活動に対する 広報の支援

##### ・ H28取組内容

まちづくりセンターを活用し、地域活動協議会が地域住民に対してその活動や組織運営、地域におけるつながりやきずなの大切さ等を積極的に啓発・広報することなどを支援する。  
このことによって、地域のより多くの人たちに地域活動への理解を促進し、活動へ参画する機会を提供する。

・ 広報研修会の開催：2回。

##### ・ 業績の目標

組織運営や会計、活動情報、つながりやきずなの大切さの啓発・広報が、地域活動への理解と活動への参画の促進に役立ったと感じている地域の数：11地域

【H28予算算定額：10,930千円】

##### 2) コミュニティ育成 支援事業

##### ・ H28取組内容

コミュニティの育成や活性化を図るため、港区で活動するさまざまな団体やグループ、区民の企画段階からの参画を促し、各種イベントや講座を企画・開催するとともに、開催結果を情報発信する。

・ 多くの区民が企画段階から参加できるイベントや講座の開催：年4回以上

##### ・ 業績の目標

コミュニティ促進や文化、スポーツ、子育て等のイベントや講座等に企画段階から参画した団体やグループ、個人の数：延べ30団体・人

【H28予算算定額：1,275千円】

##### 3) 校庭等芝生化事業

##### ・ H28取組内容

校庭等を芝生化することにより、子どもが緑のもとで遊べる環境をつくるとともに、その維持管理活動を通じて、地域の豊かなコミュニケーションづくりを促進する。また、ヒートアイランド対策の一助とする。  
専門家による技術的サポートを活用するなど、地域による取り組みが継続できるよう支援する。

・ 専門家による技術的サポートの回数：年3回以上

##### ・ 業績の目標

コミュニティ促進や文化、スポーツ、子育て等のイベントや講座等に企画段階から参画した団体やグループ、個人の数：延べ30団体・人

経営課題のための戦略

2 区民主体のまちづくりの推進

| 具 体 的 取 組          |                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 地域活動協議会に対する補助事業 | 【H28予算算定額：27,189千円】                                                                                                                                                                                  |
|                    | <p>・ H28取組内容</p> <p>地域コミュニティの活性化や防災、防犯対策の強化、子ども・青少年の育成、健康・福祉の向上など、地域課題への対応・解決に向けて、地域活動協議会が自律的、継続的に活動ができるよう財政的支援を行う。</p> <p>・ 区長が指定した分野の活動を行った地域：全11地域</p>                                            |
|                    | <p>・ 業績の目標</p> <p>本補助制度を地域の実情に即して有効に活用できたと感じている地域活動協議会の数：11地域</p>                                                                                                                                    |
|                    |                                                                                                                                                                                                      |
| 2) 新たな地域コミュニティ支援事業 | 【H28予算算定額：15,942千円】                                                                                                                                                                                  |
|                    | <p>・ H28取組内容</p> <p>まちづくりセンターの助言や指導、コーディネート等を通じて、幅広い住民参画の促進や新たな担い手の育成と拡大、団体間の連携・協働を図ることで、地域活動協議会の活動内容を充実させるとともに、会計の透明性の確保等、開かれた組織運営や法人化に向けた取り組みを促す。</p> <p>・ まちづくりセンターが行う助言や指導、コーディネート等の回数：2回/地域</p> |
|                    | <p>・ 業績の目標</p> <p>自律的な地域運営に取り組んでいると感じている地域数：11地域</p>                                                                                                                                                 |
|                    |                                                                                                                                                                                                      |

経営課題のための戦略

3 多様な協働の推進

| 具 体 的 取 組                |                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 多様な協働による活力ある地域社会づくり事業 | 【H28予算算定額：428千円】                                                                                                                                                                                                     |
|                          | <p>・ H28取組内容</p> <p>魅力と活気ある地域社会づくりに向けて、地域団体や企業、NPOなどの多様な地域活動の担い手のすそ野を広げ、マルチパートナーシップによるまちづくりを進めていくために、多様な担い手に対し地域貢献活動や各々の強みを活かした連携・協働を呼びかけ、地域課題の解決についての具体的な取組みを促進する。</p> <p>・ 区広報、HP、企業訪問などによる地域貢献活動への参画呼びかけ：通年実施</p> |
|                          | <p>・ 業績の目標</p> <p>・ 港区一斉清掃作業の実施。（25団体）</p> <p>・ 「港区ワークス探検団」（職場見学・訪問）開催。（協力企業10社）</p>                                                                                                                                 |
|                          |                                                                                                                                                                                                                      |
| 2) 地域活動のコミュニティビジネス化等の支援  | 【H28予算算定額：一千円】                                                                                                                                                                                                       |
|                          | <p>・ H28取組内容</p> <p>まちづくりセンターなどを活用し、地域活動の担い手に対してコミュニティビジネスの意義やメリットを紹介し理解を深める。また、事例や手法などの情報提供、専門相談機関等への連絡・調整の支援を行う。</p>                                                                                               |
|                          | <p>・ 業績の目標</p> <p>地域が取り組むコミュニティビジネス等の件数：8件</p>                                                                                                                                                                       |
|                          |                                                                                                                                                                                                                      |

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：7,499千円】

3) 広報紙配布事業の  
社会的ビジネス化

・ H28取組内容

すでに区内の全小学校下で取り組まれている事例の成果やメリット等を紹介することで、取り組みの定着を促進する。

・ 社会的ビジネス化の継続のため、広報紙配布事業について、全小学校下においてプロポーザルによる契約を実施する。

・ 業績の目標

広報紙配布事業を活用した社会的ビジネス化を区内全11地域で継続する。

経営課題2 安全・安心・快適なまちづくり

| 経営課題の概要                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安心・安全・快適なまちづくりに向けて、自助・共助・公助の役割分担のもと、大規模災害時に迅速かつ的確な対応が行えるよう、区の特性を踏まえた防災対策を強化するとともに、区民の防災意識をさらに高め、地域防災力の強化を図る必要がある。また、区民が巻き込まれる犯罪が発生しにくいまちとし、区民が安心して暮らせるようにする必要があります。 |

| 経営課題のための戦略       |                                                                                                                          |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 防災対策の強化        |                                                                                                                          |
| 具 体 的 取 組        |                                                                                                                          |
| 1) 地域防災の活動支援     | 【H28予算算定額：2,588千円】                                                                                                       |
|                  | ・ H28取組内容<br>地域住民が主体的に避難所を開設・運営できるよう支援するとともに、平成26年度に策定した各地域の防災計画を地域主体で実践するための地域における防災学習会の開催を支援する。                        |
|                  | ・ 避難所開設訓練及び地域防災計画学習会の実施を進めた地域：11地域                                                                                       |
|                  | ・ 業績の目標<br>避難所開設訓練及び地域防災計画学習会の実施を進め、地区防災計画等に反映した地域：6地域                                                                   |
| 2) 避難行動要支援者対策の促進 | 【H28予算算定額：一千円】                                                                                                           |
|                  | ・ H28取組内容<br>地域防災力の強化に向けて、地域の自主防災組織による「避難行動要支援者支援計画」の策定を危機管理室の自主防災組織力向上コーディネーターと連携して支援するなど、地域における避難行動要支援者の避難支援の取組みを促進する。 |
|                  | ・ 避難行動要支援者の避難支援の取組みを進めた地域：11地域                                                                                           |
|                  | ・ 業績の目標<br>避難行動要支援者の避難支援の取組みを実施し、地区防災計画等に反映した地域：6地域                                                                      |
| 3) 防災リーダーの育成     | 【H28予算算定額：969千円】                                                                                                         |
|                  | ・ H28取組内容<br>地域防災リーダー及びジュニア防災リーダー（中学生）に対し、消防署及び大阪市危機管理室地域防災活動アドバイザー等と連携した訓練等を実施する。                                       |
|                  | ・ 新人地域防災リーダーの研修会：1回<br>・ 中学校での防災学習：各1回 計5回                                                                               |
|                  | ・ 業績の目標<br>防災学習を受けた中学生のうち「災害時の役割等を理解した」と答えた生徒の割合：80%                                                                     |

経営課題のための戦略

1 防災対策の強化

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：一千円】

4) 防災サポーター登録企業等の確保

・ H28取組内容

港区内の各地域において防災活動に協力し、被害の軽減や地域生活の早期復旧等  
に貢献する災害時ボランティア制度を充実させるため、港産業会等への働きかけ  
を通じて防災サポーター登録企業等の確保を行う。

- ・ 取り組みを働きかける回数  
港産業会（郵送：年1回）  
水上防犯協会（郵送：年1回）

・ 業績の目標

防災サポーター登録企業の数（累計）：50社

【H28予算算定額：一千円】

【新規】  
5) 防災・減災教育の推進

・ H28取組内容

学校における防災・減災教育が、地域の実態に応じて効果が発揮できるよう支援  
を行う。

- ・ 学校との防災・減災教育についての情報共有・意見交換会等の開催：各校1回  
以上

学校における地域と連携した防災・減災教育の取組み校数：5校

【H28予算算定額：一千円】

6) 災害時における初期初動体制の強化

・ H28取組内容

区災害対策本部の初期初動体制をより強固とするため、「勤務時間外初期初動マ  
ニュアル」を活用し、区緊急本部員と大阪市各局職員のうち直近参集職員に指定  
された区内居住職員が連携した区災害対策本部の立ち上げ訓練等を実施する。

- ・ 直近参集職員及び区緊急本部員の合同訓練 1回

・ 業績の目標

訓練に30分以内に参集した直近参集職員の割合：2/3参集

【H28予算算定額：289千円】

7) 防災広報・啓発事業

・ H28取組内容

区民の防災意識を高めるため、防災に関する基本的な情報に加え、災害時におけ  
る「自分の命は自分で守る（自助）」「自分たちのまちは自分たちで守る（共  
助）」の取り組みの紹介や津波避難ビル、災害時避難所等の場所を掲載した区広  
報紙の防災特集号を作成し配布するとともに、区ホームページにおいて適宜情報  
を更新し、発信する。

- ・ 区広報紙の特集号の作成、配布：1回

・ 業績の目標

「災害の備えとして港区の広報紙やHP、防災フォーラムが参考になった」と答え  
た区民の割合：70%

経営課題のための戦略

1 防災対策の強化

| 具 体 的 取 組     |                                                                                             |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8) 津波避難ビルの確保  | 【H28予算算定額：一千円】                                                                              |
|               | ・ H28取組内容<br>区内の公共施設、大規模施設、全国チェーン店等は危機管理室が、地域の民間施設は区役所が地域と連携して、津波来襲時に緊急避難できる「津波避難ビル」の指定を行う。 |
|               | ・ 津波避難ビルの指定について働きかける施設数：5箇所                                                                 |
|               | ・ 業績の目標<br>新たに指定した津波避難ビルの数：2箇所                                                              |
| 9) 福祉避難所の設置運営 | 【H28予算算定額：一千円】                                                                              |
|               | ・ H28取組内容<br>災害時避難所での生活が困難な高齢者や障がい者など、支援が必要な方のための福祉避難所に対して、福祉避難所の設置運営訓練等の実施を働きかける。          |
|               | 取組みを働きかける回数：28回（28施設）                                                                       |
|               | ・ 業績の目標<br>福祉避難所の設置・運営訓練等を実施の数：3施設                                                          |

経営課題のための戦略

2 防犯対策の強化

| 具 体 的 取 組             |                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 地域防犯啓発事業           | 【H28予算算定額：522千円】                                                                                                                                                                                       |
|                       | ・ H28取組内容<br>港警察署と連携して、区内の犯罪発生場所などの犯罪情報を地図上と一覧表に集約し、積極的に発信するとともに、地域と協働して防犯意識を高めるためのひったくり防止キャンペーンを実施し、街頭犯罪を減少させ、安全・安心な街づくりをめざす。                                                                         |
|                       | 警察・地域と協働して実施した啓発活動：35回                                                                                                                                                                                 |
|                       | ・ 業績の目標<br>防犯意識が向上した区民の割合について、前年よりも5%以上の増加                                                                                                                                                             |
| 2) 子どもの安全見守り防犯カメラ設置事業 | 【H28予算算定額：1,078千円】                                                                                                                                                                                     |
|                       | ・ H28取組内容<br>子どもへの声かけ事案や強制わいせつは依然継続して発生している。一方で防犯カメラの設置は進んでいるが、ほとんどのカメラが民間所有・管理のため、公共空間の撮影範囲が少ないことや低画質のため犯人の特定に有効な機能が不足している。区が犯人の特定に有効な防犯カメラを設置し、早期の犯人確保につなげることによって犯罪の発生の抑止を図り、子どもにとって安全・安心のまちづくりを進める。 |
|                       | 防犯カメラ設置箇所：11箇所                                                                                                                                                                                         |
|                       | ・ 業績の目標<br>平成28年1～12月の通学路や公園等で子どもが被害にあった犯罪発生件数：0件                                                                                                                                                      |

経営課題のための戦略

2 防犯対策の強化

| 具 体 的 取 組          |                                                                           |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 【H28予算算定額：550千円】   |                                                                           |
| 3) 子ども見守り隊活動に対する支援 | ・ H28取組内容                                                                 |
|                    | 港区の11小学校区の子ども見守り隊活動団体に対して防犯物品を支給し、その活動を支援するとともに、地域住民の防犯ボランティア活動への参加を促進する。 |
|                    | 子ども見守り隊活動の実施校下：11校下                                                       |
|                    | ・ 業績の目標                                                                   |
|                    | 平成28年1～12月の安まちメールの子どもに対する声かけ件数を5件以下とする。                                   |

経営課題のための戦略

3 歩行や移動の安全性の確保

| 具 体 的 取 組                 |                                                                                                |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【H28予算算定額：845千円】          |                                                                                                |
| 1) 自転車利用の適正化事業            | ・ H28取組内容                                                                                      |
|                           | 平成23年度の放置自転車やマナーに関する調査結果を基に、駅周辺の放置禁止区域を中心に啓発を実施するとともに、弁天町駅前ロータリー内の抜本的な放置自転車対策を継続する。            |
|                           | サイクルサポーターによる駅前での啓発：週2回                                                                         |
|                           | ・ 業績の目標                                                                                        |
|                           | 港区内全域の放置自転車台数：27年度（11,191台）の5%以上減⇒10,630台以下                                                    |
| 具 体 的 取 組                 |                                                                                                |
| 【H28予算算定額：202千円】          |                                                                                                |
| 2) 弁天町駅周辺のバリアフリー化に向けた取り組み | ・ H28取組内容                                                                                      |
|                           | 弁天町駅周辺（半径500m程度）のバリアフリー化を進めるため、関係局や関係機関と連携し、暫定的措置として、車いす利用者が地下鉄弁天町駅ホームを利用して国道43号を横断できるように支援する。 |
|                           | 利用者からの事前申込を受けて、地下鉄弁天町駅に介助員を配置する。                                                               |
|                           | 利用登録者の拡大を図るための、区HP・広報板等の活用及び福祉関係施設を通じた事業の周知：通年実施                                               |
|                           | ・ 業績の目標                                                                                        |
|                           | 利用者のうち「今後も続けてほしい」と答えた人の割合：80%                                                                  |

経営課題のための戦略

4 空家対策

| 具 体 的 取 組         |                                                                     |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 【H28予算算定額：一千円】    |                                                                     |
| 【新規】<br>1) 特定空家対策 | ・ H28取組内容                                                           |
|                   | 区民からの通報・相談に対して迅速に現地及び所有者等の調査を行い、関係局と連携しながら保安上危険な特定空家等への助言・指導・勧告を行う。 |
|                   | ・ 業績の目標                                                             |
|                   | 区民からの通報・相談のあった空家の調査を実施し、空家の状態に応じて、所有者等に適切な指導を実施。指導件数：指導の必要な空家全件     |

### 経営課題3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

#### 経営課題の概要

健やかにいきいきと暮らせるまちづくりに向けて、支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるよう、地域に関わる多様な活動主体が協働して、地域社会全体で支えていく取り組みを促進する必要があります。また、食生活の改善や適度な運動など、健康的な生活習慣を身につけるとともに、生活習慣病の予防や疾病の早期発見が重要であり、区民の主体的な健康づくりの取り組みを促進する必要があります。

#### 経営課題のための戦略

##### 1 地域福祉の推進

#### 具 体 的 取 組

【H28予算算定額：一千円】

##### 1) 地域福祉アクションプランの推進支援

##### ・ H28取組内容

各小学校下の地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）の内容が地域で根付き、活動が着実に推進されるよう引き続き支援を行う。

・ 25年度に策定された「港区地域福祉活動計画」をさらに推進するため、各地域で地域住民懇談会を開催：各1回

##### ・ 業績の目標

住民懇談会の開催校下：11校下

【H28予算算定額：14,748千円】

##### 2) 高齢者等要支援者の見守り支援

##### ・ H28取組内容

地域における見守りのネットワークを強化するため、要援護者の情報の集約、孤立死リスクの高い要援護者等の支援を実施する。

・ 地域見守りコーディネーターを区内全11校下に配置し、高齢者等の相談や見守り支援、シニア・サポート事業のマッチング等を行うことにより、地域における住民主体の福祉コミュニティ作りを推進する。

・ 要援護者の情報をネットワーク委員、民生委員に提供するとともに、新たな見守り協力事業者の登録及び人材育成を進め、地域での見守り体制の強化を図る。

##### ・ 業績の目標

見守り協力事業者研修会の実施：2回

【H28予算算定額：3,001千円】

##### 3) 乳幼児発達相談事業の強化・発達障がい児の養育者支援事業

##### ・ H28取組内容

障がい児を持つ養育者等からの相談に応じて情報提供や助言等が行えるよう、とりわけ障がい特性や支援手法についての普及・理解が十分でない発達にかたよりのある子どもとその養育者が早期に相談が受けられるよう、臨床心理士等による専門的な支援を行うとともに、養育者どうしが情報を交換しあい、また、同じ経験を持つ養育者に気軽に相談できる場の提供を行う。

- ・ ピアカウンセリング 7回（1回につき2組）
- ・ 講演会 1回
- ・ 臨床心理士による専門的支援
- ・ 港区障がい者相談支援センターにおける相談件数

##### ・ 業績の目標

「相談できる場を利用した事で、不安軽減された」と答えた養育者の割合80%を目指す。

経営課題のための戦略

1 地域福祉の推進

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：201千円】

4) 児童虐待の防止の取組み

・ H28取組内容

要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携し児童虐待ケースの的確な対応と支援に向け確実に進捗管理を行う。また、地域の身近なところで子育てに関する悩みや不安が相談できるよう、これまで養成してきた「子育て支援サポーター」や地域の子育て支援団体、グループと連携し、虐待の発生防止や早期発見、虐待事案への迅速・適切な対応を行う。また、連携機関に対し、児童虐待防止や子育て支援に関する講演会を実施するとともに交流する場を作り、「子育て支援室」へ繋がりやすい体制を作る。

- ・ 要保護児童対策地域協議会 実務者会議の開催：14回
- ・ 子育て支援連絡会の開催：12回
- ・ 虐待防止や子育て支援に関する講演会の開催：各1回

・ 業績の目標

講演会のアンケートで虐待防止や子育て支援への理解が深まった人の割合が80%

【H28予算算定額：一千円】

【新規】  
5) 在宅医療・介護連携の推進

・ H28取組内容

疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活が続けられるよう、地域の医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供できる体制を構築するため、関係機関と連携して取組を進める。

- ・ 在宅医療・介護連携推進会議開催：3回
- ・ 在宅医療・介護連携に関する専門職向け研修会開催：1回
- ・ 在宅医療・介護連携に関する一般向け講演会開催：1回

・ 業績の目標

「在宅医療と介護について理解できた」と答えた講演会の受講者の割合：70%

経営課題のための戦略

2 区民の健康増進と生活環境の改善

【H28予算算定額：527千円】

1) 区民の健康増進

・ H28取組内容

運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりをさらに進めるため、これまで養成してきた運動サポーターと協働して運動・健康づくり講座の開催を区内全域に広げ、区民の健康の保持・増進を促すとともに、運動を中心とした健康づくり全般の知識の普及、啓発を図る。

特に11月を港区健康月間と位置付け、健康づくりイベントを開催にあわせて、健康増進活動を行っている団体やグループ、関係機関、事業者等と連携して、区民が気軽に参加できるような健康づくり支援の取り組みを行う。

- ・ 運動サポーターと協働した運動・健康づくり講座：6地域各1回
- ・ 健康づくりイベント 1回

・ 業績の目標

- ・ 健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体、グループ、関係機関等：17団体以上

経営課題のための戦略

2 区民の健康増進と生活環境の改善

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：277千円】

2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上

・ H28取組内容

区民のがん検診及び特定健康診査の受診率の向上を図るため、区広報紙やホームページによる年間の検診日程の周知、各事業・イベントなどを利用する。また、関係団体への普及啓発活動のほか、女性特有のがん検診推進事業（乳がん検診）における休日開催日を増やすことを検討するとともに、国民健康保険加入者を対象に区の広報紙など関係団体の協力を得て、広報・周知を行う。

（希望数）

- ・ がん検診実施 20 回
- ・ 特定健診の実施 10 回

・ 業績の目標

保健福祉センターで実施するがん検診（胃がん）の受診者数：50人/回

【H28予算算定額：一千円】

3) プロスポーツなどにふれられる機会の提供

・ H28取組内容

スポーツの楽しさを知っていただけるよう、シュライカー大阪や大阪エヴェッサなどの協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するなど、高度で魅力的なスポーツに身近に触れられる機会を広げる。

- ・ プロスポーツの「港区民デー」などを通じて年1回以上観戦機会を提供する。

・ 業績の目標

- ・ 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200人

【H28予算算定額：1,224千円】

4) 種から育てる地域の花づくり支援事業

・ H28取組内容

区民自らが種から育てた花を自分のまちに植えることで、自分のまちを美しくする意識の醸成や花に関心がある住民同士の交流につなげる。愛着を深めながら自主的なまちづくりへの参加意識を高め、潤いのある美しいまちづくりを推進する。

- ・ 緑化講習会（全5回）の開催：1回

・ 業績の目標

花づくり広場6か所で植付け管理を行う区民ボランティア数を前年度より5%増加させる。（目標：113名）

経営課題のための戦略

3 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

【H28予算算定額：1,439千円】

1) 区における人権啓発推進・人権相談事業

・ H28取組内容

区人権啓発推進協議会と連携して、地域に密着した人権啓発活動を実施するとともに、区役所において人権情報の提供並びに人権相談を実施する。

- ・ 人権週間事業（街頭啓発等／1回）
- ・ 人権展事業（展示等／1回）
- ・ 人・愛・ふれあいプラザ事業（講演等／2回）
- ・ 人権講座等（講座／4回、講演／1回）
- ・ チラシ・情報紙等の掲出：年10件以上
- ・ 人権相談：随時

・ 業績の目標

事業に参加した人に対するアンケートで「人権についての理解が深まった」と答えた区民の割合：80%

## 経営課題4 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり

### 経営課題の概要

子育て世代が魅力を感じるまちづくりに向けて、区内の子育てを支援する団体やグループとも連携・協働して、子育てしやすい環境づくりを進めます。また、子どもたちが自ら学び、考え、表現し、課題を解決できる力を育むとともに、いじめや不登校などの問題に対応するなど、教師が学習指導に本来の力を注げる環境づくりを進めていく必要があります。

### 経営課題のための戦略

#### 1 子育てしやすい環境の整備

#### 具 体 的 取 組

【H28予算算定額：一千円】

##### 1) 保育所待機児童への対応

##### ・ H28取組内容

低年齢児の保育所入所枠を確保するため「小規模保育事業」を実施し、事業所を確保するために事業者を公募する。

・ 子ども及びその保護者等、または妊娠している方に対し、個別のニーズや状況を把握し、認定こども園・幼稚園・保育所や一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるようにするため、利用者支援専門員を港区役所に配置して、「利用者支援事業」を実施する。

##### ・ 業績の目標

・ 小規模保育事業所を少なくとも1ヶ所新設する。

【H28予算算定額：412千円】

##### 2) 子育て支援情報の提供・ネットワークづくりの支援

##### ・ H28取組内容

子育てされている方をサポートするために、子育て支援情報を的確に提供するほか、乳幼児健診時に状況に応じた支援や相談、情報提供を実施する。また、児童養育等に関する相談指導を行うとともに、子育て支援機関が連携し在宅で子育てを行っている家庭を見守り支援する。

- ・ 区広報紙の特集号の作成、配布：1回
- ・ 乳幼児健診時（月3回 年36回）の子育て関連情報の提供及び相談
- ・ 子育て支援連絡会の開催：12回
- ・ 「楽育子育てマップ」の作成：4,000部

##### ・ 業績の目標

子育て情報が役にたったと答えた区民の割合が80%。

### 経営課題のための戦略

#### 2 子育て世代の居住促進

【H28予算算定額：一千円】

##### 1) 港区に住む魅力の発信

##### ・ H28取組内容

交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、マスコミ等への情報提供により、積極的に発信する。

・ マスコミへの情報提供：10回

##### ・ 業績の目標

マスコミ等による情報発信：4回

## 3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

## 具 体 的 取 組

【H28予算算定額：76千円】

## 1) 分権型教育行政の推進、教育課題解決への取り組み

## ・ H28取組内容

分権型教育行政を推進し、保護者や地域住民の学校教育への参加を促進しその意向を学校運営に反映しより良い学校教育を推進するとともに、保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取り、学校だけでは解決できない横断的な課題について学校を支援する。

## ○ 分権型教育行政の推進

- ・教育会議（区政会議・こども青少年部会）の開催：3回以上
- ・区教育行政連絡会の開催：小学校、中学校各3回以上
- ・区内17校園の学校協議会への教育委員会兼務職員の出席：各2回以上
- ・学校協議会委員への研修会の開催：1回以上
- ・区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整：各11回以上

## ○ 小学校の適正配置について具体的な検討を進める。

## ・ 業績の目標

保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取った新規の取組件数：2件

【予算算定額：(校長経営戦略予算)千円】

## 2) 学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援

## ・ H28取組内容

社会福祉等の専門的な知識や技術に加えて教育分野に関する知識を有するスクールソーシャルワーカーを区内市立幼稚園及び小・中学校へ巡回・派遣するとともに区専属の臨床心理士を配置することによって、区における教育相談事業として拡充する。

また、福祉的課題をかかえた児童生徒及びその家庭に対し、関係機関等のネットワークを通じた福祉施策の的確な活用など、多様な支援方法を用いて課題解決に向けた対応を行う。

## ○ スクールソーシャルワーカー

- ・1人配置（1日6時間、176日従事）
- ・区内17校園を巡回するとともに、学校園からの要請に基づき派遣。
- ・教職員等を対象とした研修の実施

## ○ 臨床心理士（新）

- ・1人配置（1日6時間、35日従事）
- ・区内小学校11校からの要請に基づき派遣

## ・ 業績の目標

本事業が「有効」と回答した学校園の割合を80%以上にする。

【H28予算算定額：3,885千円】

## 3) 学校ボランティア事業（発達障がいサポート）

## ・ H28取組内容

区内市立小・中学校及び幼稚園に在籍する発達障がい等のある児童生徒のうち、行動面で特に支援が必要とされるADHD等の重度な児童生徒に対し、遠足や社会見学等の校外学習や放課後の課外活動である部活動等をサポートするため、地域の人材を活用した発達障がいサポーターを配置する。

- ・発達障がいサポーターの配置時間：3,546時間

## ・ 業績の目標

本事業が「有効」と回答した発達障がいサポーター配置校園の割合：80%以上

経営課題のための戦略

3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：577千円】

4) 学校ボランティア事業  
(日本語サポート等)

・ H28取組内容

区内市立小・中学校に在籍する日本語指導が必要な児童・生徒に対して、学習をサポートするため、地域の人材を活用したサポーターを配置する。  
絵本ひろばのコーディネーターやファシリテーターとともにボランティアを学校に派遣し、学校での絵本ひろばの開催を促進する。

○ **日本語教育サポーターの配置（新）** 対象者数：8人以上

○ 学校における絵本ひろばの開催：3校以上

・ 業績の目標

日本語サポーターなどのボランティアサポーターへの配置・派遣が「有効」と回答したサポーター実施校の割合：70%以上

【H28予算算定額：670千円】

5) 学校ボランティア事業  
(別室登校等サポーター派遣)

・ H28取組内容

別室登校等サポーターによる不登校児童生徒等への対応策を実施する。

・ 不登校児童生徒等への別室登校等サポーターの配置：640 h

・ 業績の目標

別室登校等サポート事業が「有効」と回答したサポーター配置校の割合：80%以上

【H28予算算定額：399千円】

6) 港区サードプレイス事業  
(こどもの居場所づくり)

・ H28取組内容

子どもに家庭でも学校でもない、地域のボランティアが運営する第3の居場所（サードプレイス）を提供することによって、自由に話したり学習したりできる環境や、地域の人々とのつながりの中で、生きる力・学ぶ力を育む。

・ 居場所の開設：年間を通して月1回以上  
(スタッフの都合で可能な限り、平日の午後または夕方を含めて月2回開催を目指す)

・ 業績の目標

複数回の参加者の割合：50%以上

【H28予算算定額：175千円】

7) 家庭学習促進事業

・ H28取組内容

家庭学習の促進を図るため、平成26年度に「港区版 家庭学習の手引き」を作成。平成28年度の新小学1年生に対し、これを配布し、学校・地域等と連携して活用を図る。

・ 家庭学習の手引き 印刷

・ 業績の目標

全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国平均に対する差が、区内の全小学校（11学校）において前年に比べて上回る。

経営課題のための戦略

3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：26千円】

8) 地域の強みを活かした教育力向上事業（絵本によるこどもの読書活動の促進）

・ H28取組内容

区内の学校図書館や地域の公共施設等において、地域の主体的な「絵本ひろば」の開催を促進することで、子どもの主体的な読書活動を推進する。

- ・ 絵本による読書活動促進スタートアップ事業の実施  
絵本ひろばの協働開催3回
- ・ 絵本ひろば連絡会の開催

・ 業績の目標

地域が主体的に実施する絵本ひろばの回数：3回

【H28予算算定額：58千円】

9) 地域の強みを活かした教育力向上事業（こどもサイエンスカフェ）

・ H28取組内容

区内の教育資源を有する施設と連携するなど、地域の強みを活かした社会教育の機会を提供する。

- ・ こどもサイエンスカフェの実施 4回

・ 業績の目標

参加してよかったと回答した参加者の割合70%以上。

【H28予算算定額：646千円】

10) 地域の強みを活かした教育力向上事業（学校協働によるスケート教室など）

・ H28取組内容

区内の教育資源を有する施設（大阪プール、海遊館など）と活用し、地域の強みを活かした学校横断的な事業展開によるメリットを活かした手法で、特色ある学校教育を目指す。

- ・ スケート教室を学校との協働で実施 **（新）**
- ・ 海遊館生物教室を学校との協働で実施 **（新）**

・ 業績の目標

実施校へのアンケートで「これらの取組みによる体験を通し、興味・関心を高め、体力・運動能力や学力の向上に有効であった」という回答が7割以上

【H28予算算定額：3,588千円 財源：（一財）自治体国際化協会の助成金】

11) 多文化共生教育スタートアップ事業

・ H28取組内容

区役所、区保健福祉センター、学校、地域のNPO等が多文化共生教育を軸に連携して、外国籍住民のエンパワメント及び日本国籍住民の多文化共生の意識を醸成し、多様な人々がその能力を発揮できる多文化共生のまちづくりを推進するため、以下の有機的に連携した取組みを実施することによって、教育を軸に多文化共生を推進するシステムを構築するためのスタートアップ事業を行う。

- ・ 帰国・来日等のこどもへの学習サポート等派遣 **（新）**  
学校の要請に応じ、通訳派遣を行う。
- ・ こども多文化カフェ  
留学生や区内の外国籍住民と小中学生が、日本語以外の言語でカフェ感覚で気軽に交流し、多文化共生の意識を醸成する「こども多文化カフェ」を、区内2カ所で24回程度を実施

・ 業績の目標

学習サポート等派遣を実施した学校から「有効」との回答する割合：70%以上

こども多文化カフェへの参加児童等のアンケートで「多文化共生に関心をもった」と回答する割合：60%以上

経営課題のための戦略

3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：403千円】

12) 青少年の健全育成の推進

・ H28取組内容

青少年の健全育成や非行防止を図るため、青少年指導員による街頭指導、夜間巡視、青少年福祉委員による社会環境浄化活動等に加えて、各中学校区の「青少年育成推進会議」における研修会の開催などを支援し、学校・家庭・地域が協働・連携して取り組む活動を推進する。

- ・ 「青少年育成推進会議」における夜間巡視等の取り組み：各中学校下で5回
- ・ 「青少年育成推進会議」における意見交換会・研修会：1回
- ・ 「こども110番の家」事業の協力家庭・事業所の新規登録の促進。

・ 業績の目標

青少年育成推進会議の参加者がアンケートで、「青少年育成推進活動が有意義である」と回答した者の割合：70%

経営課題5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

|                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経営課題の概要                                                                                                            |
| 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくりにむけて、区内の中小企業の活性化を図るとともに、築港・天保山エリアの豊富な観光資源を活かし、観光客の誘致とにぎわいを進めるなど、まちづくりの視点から地域のにぎわいを創出していく必要があります。 |

|                   |                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経営課題のための戦略        |                                                                                                                                                                                                              |
| 1 地域資源を活かしたまちの活性化 |                                                                                                                                                                                                              |
| 具 体 的 取 組         |                                                                                                                                                                                                              |
| 1) 中小企業の経営支援事業    | 【H28予算算定額：一千円】                                                                                                                                                                                               |
|                   | ・ H28取組内容<br>区内中小企業の経営支援を目的として、大阪商工会議所西支部、港産業会などの商工関連団体と連携して、中小企業支援情報の提供を行うとともに企業間交流を促進し、ビジネスチャンスの拡大をめざす。                                                                                                    |
|                   | ・ 経済交流会の実施：1回                                                                                                                                                                                                |
|                   | ・ 業績の目標<br>企業連携につながる商談件数：3件以上                                                                                                                                                                                |
| 2) 港区魅力発掘・創出事業    | 予算算定額：1,371千円】                                                                                                                                                                                               |
|                   | ・ H28取組内容<br>「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区のイメージをモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、商品としての魅力をアピールして地域経済の活性化をめざす。<br>また、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を醸成し、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざす。 |
|                   | ・ 「みなトクモン」開発に関心を持つ事業者等を対象とした「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：年6回以上<br>・ 「みなトクモン」開発を促進するため みなトクモン募集及び「港区魅力発掘・創出事業の取組み」紹介リーフレットを作成                                                                                           |
|                   | ・ 業績の目標<br>「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5品）                                                                                                                                                                |

経営課題のための戦略

2 観光施策と連携した築港エリアのにぎわい・まちづくり

具 体 的 取 組

【予算算定額：5,326千円】

1) 築港・天保山地区まちづくり計画」策定に向けた調査検討業務

・ H28取組内容

副市長をリーダーとした「築港・天保山まちづくり計画」策定プロジェクト会議（庁内検討体制）において、集客観光ゾーンと住居生活エリア、港湾物流エリアが併存するといった特性を持つ築港・天保山エリアにおける現状と課題について関係各部局が共有し、戦略的な観光施策の連携、港湾計画や都市計画、民間活力の活用などの多角的な観点を踏まえた調査検討を行い、将来的なまちづくりの方針を決定する。方針を踏まえて民間活力を活用した官民協働による中長期的な「築港・天保山まちづくり計画」を29年度末までに策定する。

・ 業績の目標

（アンケート調査、現状の課題や規制緩和等の意向・民間活力導入の需要等の関係者ヒアリング調査等）  
・ まちづくり方針の作成（築港・天保山まちづくり計画素案）  
・ 築港・天保山まちづくり計画策定プロジェクト会議の開催（6回予定）  
・ 築港・天保山魅力創造検討会開催（2回予定）

・ 業績の目標

広域と基礎行政の連携により、「ベイエリアの魅力あふれる訪れたいまち・住みたいまちの実現」「水都大阪の玄関口として世界にアピールする集客観光拠点の形成」をめざす、まちづくりの方針を作成する。

【予算算定額：1,000千円】

2) 海と川をつなぐ水辺のにぎわいづくり事業

・ H28取組内容

大阪の海の玄関口である大阪港、築港地区の歴史的価値・特性を再発見するとともに、水資源でつながった地域の歴史・文化・景観資源を生かした観光集客とまちづくりを市民協働・官民協働で進めることを目的として、水都大阪としての魅力発信となる市民参加イベントと大阪の発展を港と川という水のルートでたどる舟運の社会実験を実施する。

・ イベントの企画内容を検討する会議：6回開催（5月～10月）

・ 水都大阪の海の魅力を発信する水辺イベントと舟運の社会実験を実施：11月予定

・ 業績の目標

イベント来訪者へのアンケート結果：満足度〈70%以上〉

経営課題のための戦略

3 まちづくりに向けた行政資産等の活用

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：一千円】

1) 弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討調査

・ H28取組内容

現在の区民センターや老人福祉センター、子ども・子育てプラザを廃止し、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が活動・交流できる「（仮称）区画整理記念・交流会館」として再構築するため、既存施設で取り組んでいる事業の現状分析を行う。  
また、供用廃止する区民センターや図書館移転後の建物の取扱いの方向性について、区分所有者の意向も踏まえ決定する。

・ 区政会議による意見の聴取：1回

・ 業績の目標

既存施設で取り組んでいる事業の現状分析を行うとともに、供用廃止する区民センターや図書館移転後の建物の取扱いの方向性を決定する。

【H28予算算定額：一千円】

2) プロスポーツなどにふれられる機会の提供

・ H28取組内容

スポーツの楽しさを知っていただけるよう、シュライカー大阪や大阪エヴェッサなどの協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するなど、高度で魅力的なスポーツに身近に触れられる機会を広げる。

・ プロスポーツの「港区民デー」などを通じて年1回以上観戦機会を提供する。

・ 業績の目標

・ 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200人

経営課題6 自律した自治体型の区政運営

経営課題の概要

区長が自らの権限と責任のもとで、区内の実情や特性に即して施策・事業を総合的に展開するとともに、その成果を区民が評価し、施策事業の改善や新たな展開につなげていく必要がある。

経営課題のための戦略

1 区長のマネジメントによる港区の特性に応じた区政の推進

具 体 的 取 組

【予算算定額：18,374千円】

1) 区長の決定による施策・事業の推進

・ H28取組内容

区長の決定権を活用して各部局と連携して施策・事業を実施し、その取組みや成果を区の広報紙やホームページ、ツイッターなどで区長自ら積極的に発信する。

- ・ 区広報紙・区ホームページへの区長メッセージの掲載：12回
- ・ 区長によるツイッター・フェイスブック投稿：360回

・ 業績の目標

「広報紙やホームページなどで港区の施策・事業に関する区長からのメッセージやお知らせを読んだことがある」と答えた区民の割合：80%

【予算算定額：2,855千円】

2) 多様なニーズの把握と区政への反映

・ H28取組内容

区民モニターアンケートを実施するほか、市民の声、みなと改善箱に加えて、区長による出張型意見交換会、フェイスブック、ツイッターなどにより多様な区民の意見やニーズを的確に把握し区政に反映する。

- ・ より多くの意見を把握するため、港区の区民、港区へ通勤・通学されている方（モニター登録数：1,000名）を対象としてアンケート調査を実施する。

・ 業績の目標

多様な区民の意見・ニーズを把握し、区の事業実施や施策への反映に活用する。また、設定された目標値に対する効果測定の指標とするため、モニターアンケートを活用する。  
・ 区民モニターアンケート等により寄せられた意見やニーズを区政に反映させた件数：10件

経営課題のための戦略

1 区長のマネジメントによる港区の特性に応じた区政の推進

具 体 的 取 組

【予算算定額：709千円】

|             |                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 3) 区政会議運営事業 | ・ H28取組内容                                                                            |
|             | 地域活動協議会の代表者や公募の区民等による「区政会議」において、区の施策や事業についての意見や評価をいただく。                              |
|             | ・ 平成27年4月～平成28年3月<br>区政会議（全体会議 4回、部会3部会×5回程度）                                        |
|             | ・ 業績の目標                                                                              |
|             | 区民から、区政における様々な課題について意見をいただき、区政に関する評価を行うために「区政会議」を開催し、区政会議での意見や評価を施策・事業の見直しに10件反映させる。 |

【予算算定額：126千円】

|             |                                                                                           |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4) 区の広聴関係事業 | ・ H28取組内容                                                                                 |
|             | 区政・市政に関する区民の意見・要望等を適切かつ迅速に処理を行い、説明責任を果たすとともに、ご意見を区政・市政に反映させることで、市民参画、市民と協働した市民本位の市政を実現する。 |
|             | ・ 「市民の声」「み・な・と改善箱」、「みなりんリンプロジェクト」、「twitter」、<br>たばっちちゃんと「みなと〜く」を通年実施                      |
|             | ・ 業績の目標                                                                                   |
|             | 区民からの意見に対し区が処理した対応について、本人の同意を得て区の広報紙やホームページ、掲示板などで公表した件数：全件                               |

【予算算定額：76千円】

|                            |                                                                                                                                                             |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5) 分権型教育行政の推進、教育課題解決への取り組み | ・ H28取組内容                                                                                                                                                   |
|                            | 分権型教育行政を推進し、保護者や地域住民の学校教育への参加を促進しその意向を学校運営に反映しより良い学校教育を推進するとともに、保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取り、学校だけでは解決できない横断的な課題について学校を支援する。                                  |
|                            | ・ 教育会議（区政会議・子ども青少年部会）の開催：3回以上<br>・ 区教育行政連絡会の開催：小学校、中学校各3回以上<br>・ 区内17校園の学校協議会への教育委員会兼務職員の出席：各2回以上<br>・ 学校協議会委員への研修会の開催：1回以上<br>・ 区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整：各11回以上 |
|                            | ・ 業績の目標                                                                                                                                                     |
|                            | 保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取った取組件数：2件                                                                                                                         |

経営課題のための戦略

2 親切で信頼される区役所づくり

具 体 的 取 組

【H28予算算定額：一千円】

|                |                                                                                                                            |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1) 区役所の相談機能の強化 | ・ H28取組内容                                                                                                                  |
|                | 日常生活に関する様々な相談や要望を来庁・郵便、電話やインターネットなどにより受け付け、関係局と連携して適切に対応する。<br>また、画像投稿サイトを用いた地域課題の解決等、I C T（情報通信技術）を活用して双方向のコミュニティを活性化させる。 |
|                | ・ 来庁・郵便、電話やインターネット等による受付：随時                                                                                                |
|                | ・ 業績の目標                                                                                                                    |
|                | 受け付けた相談や要望及び投稿に適切に対応した件数：全件                                                                                                |

経営課題のための戦略

2 親切で信頼される区役所づくり

【H28予算算定額：一千円】

2) 地域の実情に応じたきめ細やかな支援

・ H28取組内容

地域や地域活動に関する情報を区課長会等において各課・各担当で共有するとともに、具体的な課題に対しては中間支援組織とも連携しながら地域の実情に応じた一体的、総合的な支援を各課・担当を超えて行う。

・ 地域実情について、地域を支援する担当や中間支援組織が情報を共有する会議を開催：12回

・ 業績の目標

地域課題に対して、中間支援組織と連携して地域実情・課題にあった支援を行った地域の数：11地域（全地域）

【H28予算算定額：一千円】

3) 市民満足（CS）の向上

・ H28取組内容

職員による提案やみなと改善箱等に寄せられた区民の意見を踏まえ、区役所サービスの向上に向けた取組みを推進する。

・ 窓口サービス向上委員会における取組と実践

・ 業績の目標

区政運営に関する事項についてのアンケートで「あなたは、区役所での来庁者への案内サービスや窓口での応対について、以前に比べよくなったと感じましたか」との質問に対する肯定的意見の割合：75%